

ほっと通信

会員各位におかれましては、ご健勝のことと拝察申し上げます。日頃より当連絡協議会の運営には多大なご理解とご協力を賜り深謝申し上げます。

今年は、日本各地では台風や豪雨の影響を受けた地域もありますが、ここ上越地域では大きな被害もなく紅葉の秋を迎えているところであります。

さて、この度、ほっと通信No.69を、先日実施いたしました担当者研修会の抄録特集としてお届けいたしますので、ご一読くだされば幸いです。

第36回担当者研修会を開催いたしました。

平成28年9月8日(水)午後3時 (上越医師会館)

参加者 54名(48事業所)

1. 開会挨拶 当協議会 佐藤明郎会長(サトウ産業)

第36回担当者研修会は、木島副会長さんを中心に事業部会において、消化器疾患に関する特集として企画いただきましたが、大変大勢の会員よりご参加いただき、ありがとうございます。

本日の研修会は、ご来賓の挨拶、情報提供、特集の3部構成です。特別講演では、山崎内科消化器科医院 院長の山崎国男先生から、消化器疾患に関するご講演を頂戴いたします。本日の研修会も盛りだくさんではありますが、爽り多い研修会にしてください。(要旨)



2. 来賓挨拶 上越労働基準監督署長 高橋英人 様

当日は、公務ご多忙の中をお越しいただき、ご挨拶と合わせて労働安全行政の情報をご提供いただきました。



1) 9月は「職場の健康診断実施強化月間」です。

～健康診断の実施と事後措置の徹底を～

新潟県における定期健康診断の有所見率は、平成13年以降50%を超え、血中脂質検査、血圧、血糖検査及び尿検査(糖)の有所見率も全国的にも高くなっています。定期健康診断の有所見率の改善に向けて積極的に産業保健活動に取り組みましょう。

2) 第67回労働衛生週間(10月1日～7日)

スローガン「健康職場 つくる まもるは みんなが主役」

平成26年6月に公布された改正労働安全衛生法では、ストレスチェック制度の導入や化学物質の適切な管理、受動喫煙防止対策等を推進し、業務上疾病の発生を未然に防止する仕組みを充実させることとしています。上越労働基準監督署等が主に取り組んでいる支援体制を次に紹介します。

□メンタルヘルス対策

<http://kokoro.mhlw.go.jp/>

□過重労働対策

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei12/>

□治療と職業生活に両立支援対策

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000115267.html>

□受動喫煙防止対策

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/kitsuen/index.html

□腰痛防止対策

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/youtsuushishin.html>

□産業保健総合支援センター(労働者数50人未満の事業場を対象に健康相談等の産業保健サービスを実施。上越医師会館に相談窓口が開設されています)

<http://www.johas.go.jp/shisetsu/tabid/578/Default.aspx>

3) 業務上疾病の発生状況の推移

・業務上疾病の発生状況は、長期的には減少傾向にあり、平成27年は前年に比べて若干減少している。(業務上疾病の約7割を、負傷に起因する疾病が占められている。さらに、負傷に起因する疾病の約85%を災害性腰痛(いわゆるぎっくり腰)が占めている。

健康に関する質問や体験談がありましたら、お気軽にFAXやメール等でご連絡下さい。

<連絡先> TEL025-521-0571 FAX025-522-2434 e-mail: kyougikai@joetsu.niigata.med.or.jp

住所: 〒943-8555 上越市春日野1-2-33 上越地域総合健康管理センター内

上越地域職域健康づくり連絡協議会事務局「ほっと通信」編集係

3. 情報提供

①上越市健康づくり推進課 保健師 坂上喜代江 様

「上越市のがんの現状と課題について」



上越市では、がん検診の受診率向上への取組みとして、①無料クーポンの配付（上越市に住所にある方は就業中の方でも利用可能だが、勤務時間の関係で受診は難しい）、②インターネットによる24時間予約受付システムの導入、③夕方、土曜日、日曜日検診の実施。等を行っている。

今後の課題としては、がん検診未受診者から進行がんが発見されるが、そうすると生活の質の低下や高額な医療費につながることや、上越市は胃がんが男女とも多いことと、大腸がんでは上越市国保加入者の入院件数や医療費が徐々に増加している事等から、がん検診受診の必要性・重要性と受診方法を周知徹底し、受診勧奨につなげる。がんは早期発見、早期治療が重要。がん検診を受診しよう。（併せて、上越市ホームページにご自身の健診結果を入力し自分の体の状態を知ることができる様式の紹介もありました。

【上越市 健診結果セルフチェック】で検索)

②妙高市健康保険課 総合健康都市推進室 保健師 和久井美幸 様

「妙高市のがん検診について」

妙高市では、大腸がん標準化死亡比(SMR)が新潟県内において、女性はワースト1位、男性はワースト4位であることから、平成28年度より大腸がん撲滅キャンペーンを実施中。

キャンペーンは、①大腸がん検診を受診しよう（対象者へ無料クーポン配布）、②がんの予防も毎日の積み重ね！（生活習慣の改善＝適正飲酒・禁煙・適度な運動・体重管理・減塩と偏りのない食事）に取り組んでいるが、大腸がん検診の他にも胃がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がんの各種がん検診を実施しており、事業所で受診できるがん以外のものや、職場でのがん検診の機会を逸した場合等も妙高市在住の方は市の検診を利用願いたい。妙高市では、『総合健康都市妙高』をめざして平成25年度に「妙高市元気いきいき健康条例」を制定し、市民と行政が協働して健康づくりを推進し、市民が生涯にわたって元気で生き生きと暮らすことができることを目的に各種事業に取り組んでいる。



③上越地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 保健師 矢坂陽子 様

「がんを早く発見しよう」



上越市と妙高市はがん死亡率は高く、胃がんと大腸がんの標準化死亡比(SMR)は、両市とも特に高い。胃がんと大腸がん死亡者の年齢は70歳以上が大半であり、年齢が上がるとうと死亡が激増する。

胃がん検診の受診者数は、事業所検診での受診者数が多い。退職後は市主催検診に移行するが受診者数は減少する。しかしどの年代でも未受診者数が非常に多く、がんでの死亡が増加する頃に受診者数も低下する現状である。

早期発見は5年生存率が高い。早く発見するためには①がん検診の受診、②60歳以降もがん検診を受診する、③事業所で退職後の情報提供、④アイデアを出し合って実践。そして、科学的根拠のあるがん予防として①禁煙する、②食生活を見直す、③適正体重を維持する、④身体を動かす、⑤お酒を飲み過ぎない。の5つの健康習慣（国立がん研究センターがん情報サービス）を実践しよう。これらの情報が従業員の方々に広く伝わるようお願いしたい。（この他に、禁煙や元気いきいき健康企業に関する情報提供をいただきました。今後、メールマガジン等で紹介します）

※引続き行われた☆特集 ～テーマ「消化器疾患について」～は、紙面の都合により次号以降に『消化器疾患特集』として掲載予定です。ご了承ください。

①講演「当センターにおける大腸CT検査の実際」

上越地域総合健康管理センター 健診検査課診療放射線技師 広瀬泰治 様

②特別講演「消化器疾患について」

山崎内科消化器科医院 院長 山崎国男 先生